

令和5年度（2023年度）
ハッピー（8%）ごみ減量^{げん}プラン
～第4次豊中市ごみ減量計画～
事業等報告書 確定版

令和6年（2024年）12月

豊中市 環境部 減量計画課

第 1 章 第 4 次豊中市ごみ減量計画の概要

(1) 計画の概要

第 4 次豊中市ごみ減量計画では、「廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例」及び「第 4 次豊中市一般廃棄物処理基本計画」の理念をふまえ、具体的なごみ減量の取組み内容及び実施スケジュールを掲げています。

ごみ減量を進めるためには、物が生産、販売、消費され、廃棄、処理、資源化されるまでの一連の流れに関わるあらゆる人が、お互いを理解し、協力しながら減量行動を実践していく必要があります。このため、「第 4 次豊中市ごみ減量計画」では、行政の取組みだけでなく、市民や事業者に求められる役割と行動を示すほか、市民・事業者・行政の三者が連携して行う取組みを含めた内容となっています。

また、ごみ減量施策の進捗状況を分かりやすく伝えるため、事業の成果を測定する「モニター指標」を設定し、P D C A サイクルに基づく進行管理を行うこととしています。

(2) 計画期間

平成 3 0 年度（2 0 1 8 年度）～令和 9 年度（2 0 2 7 年度）

(3) 基本姿勢

ア 基本理念

協働で取り組む循環型社会の構築

イ 基本方針

循環型社会の構築に向けた取組みを進めます

ウ 基本施策

1. 廃棄物の減量に向けた発生抑制・再使用と質の高いリサイクルの推進
2. 廃棄物の適正処理の推進
3. 美しいまちづくりの推進
4. 災害廃棄物の適正処理

(4) 減量目標

「ごみの焼却処理量を令和 9 年度（2 0 2 7 年度）には平成 2 8 年度（2 0 1 6 年度）実績より 8 %削減します」

第2章 ごみ減量計画の進捗状況

目標項目		平成 28 年度 (2016 年度) 基準年度	令和 4 年度 (2022 年度) 実績	令和 5 年度 (2023 年度) 実績	令和 9 年度 (2027 年度) 目標
減量目標	ごみの焼却処理量※A	103,584 t	98,338 t	95,569 t	95,281 t
個別の数値目標	家庭系ごみ 1 人 1 日 当たり量※B (再生資源除く。)	414g/人/日	404g/人/日	387g/人/日	394g/人/日
	家庭系ごみ量 (参考)	59,838 t	58,993 t	56,586 t	58,056 t
	事業系ごみ量※C (再生資源除く。)	43,099t	37,897t	37,634t	36,601t
	食品ロス 1 人 1 日当 たり量※D	H12 年度 基準年度 166g/人/日	110.1g/人/日	107.1g/人/日	必達目標 108.8g/人/日 高位目標 94.7g/人/日
参考指標	リサイクル率※E	15.7%	16.0%	15.7%	19.3%
	再生資源の量 (参考)	19,610t	18,982t	18,033t	23,573t

<令和 5 年度 (2023 年度) の成果指標の数値状況について>

令和 9 年度 (計画期間最終年度) の各目標値については、令和 5 年 (2023 年) 3 月に改定した「第 4 次豊中市一般廃棄物処理基本計画」の数値

※A 豊中市伊丹市クリーンランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量

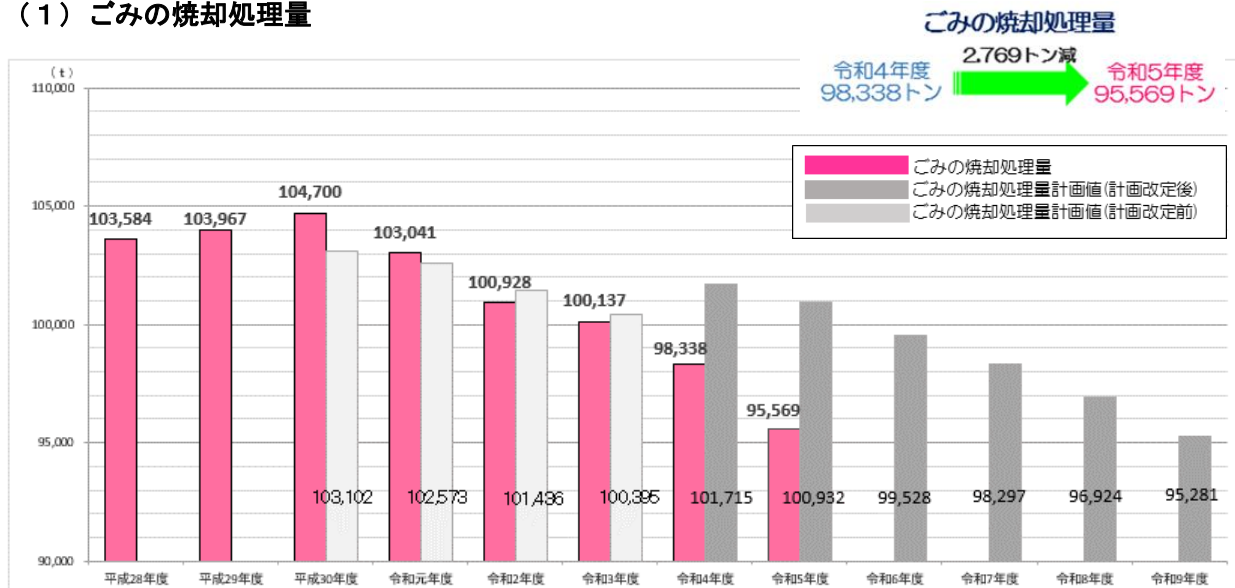
※B 豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ搬入量 (再生資源を除く) の 1 人 1 日当たり量

※C 豊中市伊丹市クリーンランドへの事業系ごみ搬入量 (再生資源を除く) の年度合計量

※D 豊中市伊丹市クリーンランドへ搬入する家庭系及び事業系の可燃ごみに、家庭系排出実態調査における食品ロスの割合 (17.74%) と、事業系排出実態調査における食品ロスの割合 (16.68%) をそれぞれ乗じて算出した推計量 (食品ロス割合等の詳細については巻末を参照)

※E 資源化量 (集団回収を含む、民間の自主的取組みは除く) ÷ 総排出量 (再生資源を含む)

(1) ごみの焼却処理量

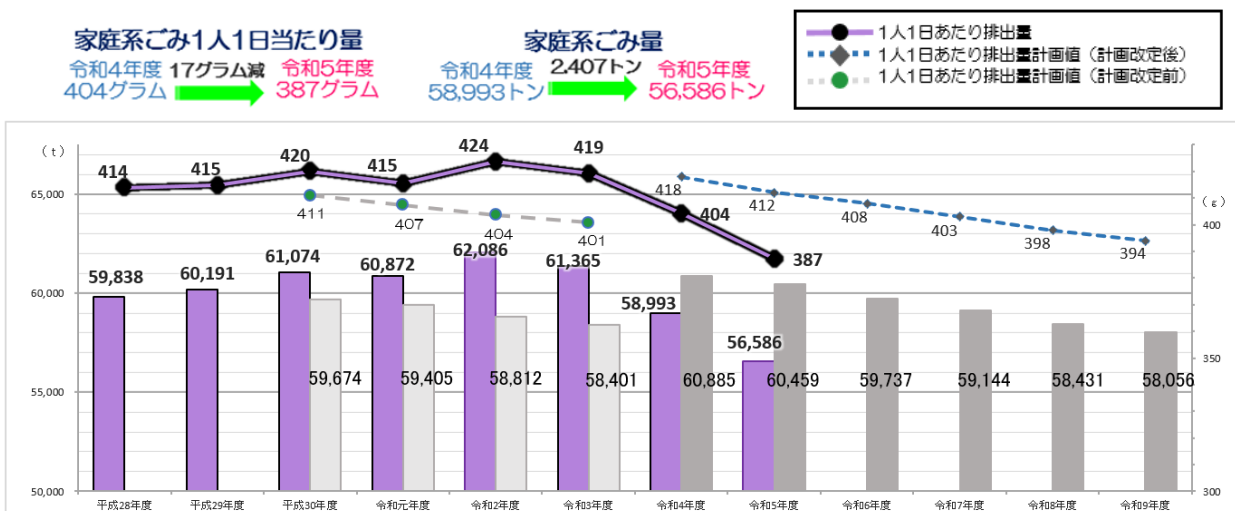


・ごみの焼却処理量・・・豊中市伊丹市クリーンランドにおいて焼却処理されるごみの年度合計量

要因分析

「ごみの焼却処理量」は、令和4年度比で、2,769トン減少しています。
その要因として、令和5年度はアフターコロナに転換し、事業活動や人びとの外出の機会が通常に戻るなか、環境意識の浸透、物価高騰による個人消費の抑制ともあいまって家庭系ごみは引き続き減少、事業系ごみも事業者や行政の取組みにより微減となり、総量として大幅な減少と推察されます。

(2) 家庭系ごみ1人1日当たり量・家庭系ごみ量

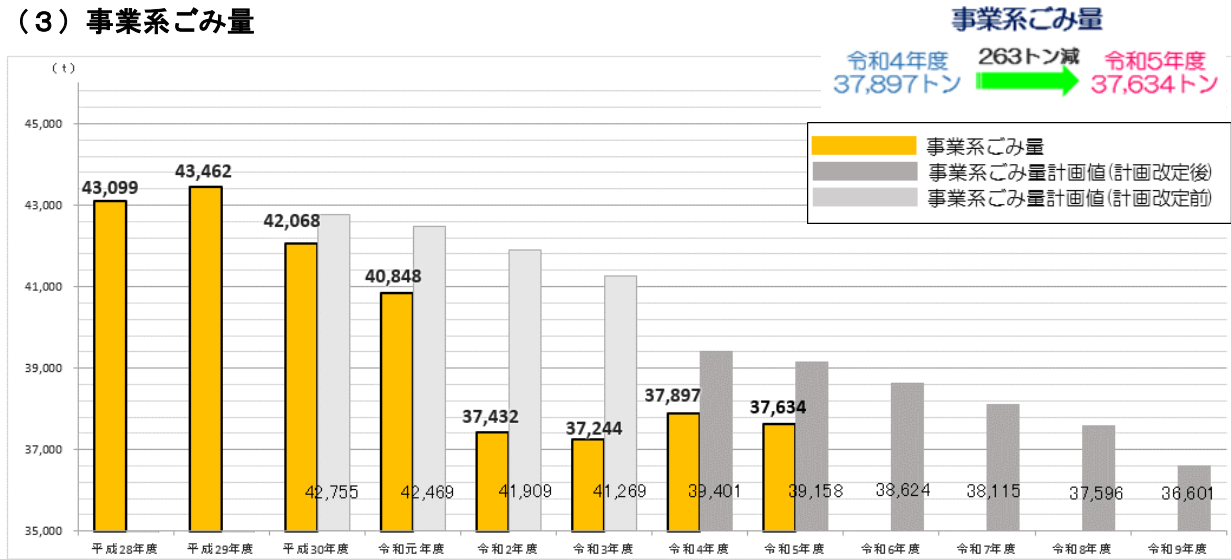


・家庭系ごみ1人1日当たり量・・・豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ(可燃・不燃・粗大ごみ)搬入量(再生資源を除く)の市民1人1日当たり量
・家庭系ごみ量・・・豊中市伊丹市クリーンランドへの家庭系ごみ(可燃・不燃・粗大ごみ)搬入量(再生資源を除く)の年度合計量

要因分析

「家庭系ごみ量」は令和4年度比で、2,407トン減少し、1人1日あたり量については、令和4年度比で17グラム減少しています。
その要因として、在宅時間の減少や、ごみの減量に向けた普及啓発の推進による環境意識の浸透、また物価高騰による個人消費抑制の影響もあり、大きく減少したものと推察されます。

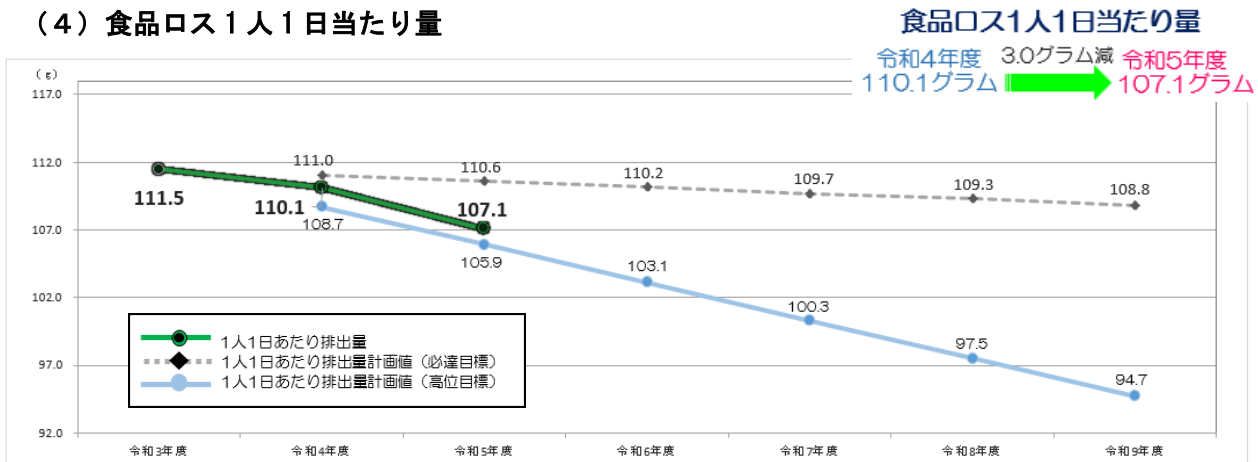
(3) 事業系ごみ量



・事業系ごみ排出量・・・豊中市伊丹市クリーンランドへの事業系ごみ搬入量（再生資源を除く）の年度合計量

要因分析	<p>「事業系ごみ量」は令和4年度比で、263トン減少しています。 その要因として、コロナによる経済への影響が収束に向かい、事業活動が通常に戻るなか、事業者によるごみの発生抑制やリサイクルへの取組みの浸透、行政によるごみの搬入物検査等により、昨年度と比べ減少したと推察されます。</p>
------	--

(4) 食品ロス1人1日当たり量



・食品ロス1人1日当たり量・・・家庭系及び事業系ごみの実績値に、排出実態調査における食品ロスの組成割合を乗じて算出した推計量

要因分析	<p>「食品ロス1人1日当たり量」は、令和4年度比で推計値として3グラム減少しています。 その要因として、行政や事業者の取組み推進、家庭における無駄のない買い物や食材の活用が進んだことなどにより、減少したと推察されます。</p>
------	---

(参考指標) リサイクル率

令和4年度 0.3ポイント減 令和5年度
 16.0% → 15.7%

今後の方向性	<p>外出機会の増加で、宅配やテイクアウトなどの需要が減り、再生可能な容器包装などの使用が少なくなったこともあり、減少したと推察されます。社会全体で徹底した資源循環の促進が求められるなか、今後も適正な分別・排出に向けた取組みを推進していきます。</p>
--------	--

第3章 廃棄物減量等推進審議会評価と市民意見等 それに対する市の考え方

(1) ごみの焼却処理量

審議会評価

- 当年度の目標値を大きく上回っています。新型コロナウイルスによる生活への影響が収束したことに伴う外出機会の増加や物価の高騰、あわせてこれまでのごみ減量施策により、家庭系ごみが大きく減少したと考えます。事業系ごみに関しては微減となっているため、今後も継続して家庭系・事業系ごみの減量に向け、効果的な施策に取り組む必要があります。

主な市民意見（抜粋）

- 前年度比で大幅に焼却処理量が減少しており、人々のごみに対する意識も変わってきているので、ごみの減量が維持・継続できるように思う。
- ごみの量は順調に減少していると思うが、どこかで下げ止まりになるのではないかと考えられる。
- 数値目標を達成してもしなくても、市民の生活には何の影響もない。目標達成時に市民が身近に感じられる影響やゴールを周知してはどうか。
- ごみをリサイクル等する際にかかる費用と、ごみを減量したら処分費用がどれだけ削減できたのかが分かると、減量のモチベーションにもなる。
- 市民に向けてごみの減量について振り返り、どうすればよいか考えさせる企画は有意義である。
- 日常生活の中でごみ減量の取組みを知ることができるよう工夫をしてほしい。

市の考え方

物価高騰による消費抑制の影響もありますが、社会全体における環境意識については定着しつつあり、市民・事業者・行政が一体となってごみの減量に向けた取組みを継続していることにより、順調にごみが減量していると考えます。

今後も社会経済情勢によるごみの排出量への影響を注視しながら、効果的なごみ減量普及啓発事業を推進します。

なお啓発にあたっては、わかりやすく具体的に情報を発信することで、環境についてより身近に感じていただける、また、市民や事業者がさらに積極的にごみ減量を促進していくことができるよう取組みを進めていきます。

(2) 家庭系ごみ1人1日当たり量・家庭系ごみ量

審議会評価

- 家庭系ごみの排出量については、物価高騰による個人消費の抑制等が影響して減少したと考えられますが、今後経済状況がどのように推移しても、継続してごみを減らすことができるような取組みを実施する必要があります。

主な市民意見（抜粋）

- ごみが減っているのは、レジ袋の有料化や物価高による消費の冷え込みなど様々な要因があると思う。
- 実際に数値として削減できているのを見ると、やりがいを感じる。
- できるだけ住民に負担をかけずに生ごみやプラスチックのリサイクルに関する施策を考えて欲しい。
- 家庭内の不要品や衣類などをリサイクルする方法、場所がもっとあるといいと思う。
- ごみが減っている具体的な改善理由や今後の課題なども知ることができたらもっと良かった

市の考え方

社会情勢によるごみの排出量への影響もありますが、今後も発生抑制を第一とし、どうしても出てしまうごみや不用品についてはリユース事業やリサイクルへの取組みを継続して推進します。

また、ごみ減量に向けた情報発信等により、環境意識のさらなる浸透に努め、アンケート等の活用によって、適宜施策に関する効果測定を行い、市民ニーズを的確に捉えて反映させることで、ごみの減量についてさらに関心を抱いてもらえるような取組みを推進します。

(3) 事業系ごみ量

審議会評価

- 新型コロナウイルスによる生活への影響が収束したことに伴う外出機会の増加により、ごみの排出量増加が懸念されましたが、在宅勤務の増加やごみの発生抑制、リサイクルへの取組みが浸透していることから減少したものと思われます。今後も事業者のごみ減量への意識向上を図る取組みを推進する必要があります。

主な市民意見（抜粋）

- 今後も継続してごみの搬入物検査の強化を含め、減量に向けた正しい分別の啓発を行っていただきたいと思う。
- ペーパーレス等の取組みを実施しており、少しずつではあるが減量に取り組んでいると感じる。
- 思っていたよりも、廃棄物減量に向けて各事業所の取組みが進んでいるが、まだまだ廃棄物の発生抑制の余地がある。
- 事業所としても、節約の意識がごみの減少につながる為、推進していきたい。
- 年々着実に減少していることは、すばらしいと思うが、家庭ごみ・事業ごみとも、昨今の経済状況による消費低迷・生産低迷も関係していると考えられ、手放しに喜べるものでもないと思う。

市の考え方

今後も経済状況の回復に伴った事業系ごみの動向を注視するとともに、ごみ減量に向けた周知啓発を行い、さらなる意識の定着を図ります。また、適正処理や先進事例の紹介等による情報発信、多量排出事業者の立ち入り調査及び処理施設でのごみの搬入物検査を引き続き実施し、行政と事業者とが一体となったごみ減量への取組みを推進します。

令和5年度（2023年度）から実施している生ごみ処理機設置補助事業について、令和6年度（2024年度）から処理対象物を拡充し、新たなごみ処理機設置補助事業としての取組みを進めており、今後も事業系ごみの減量につながる施策を推進していきます。

(4) 食品ロス1人1日当たり量

審議会評価

- 家庭系ごみ量及び事業系ごみ量に紐づいて増減する推計量であり、家庭系ごみが大きく減少したことにより、相対的に食品ロス量が減少しています。引き続き食品ロスの削減に向けた取組みを推進していくことが必要です。

主な市民意見（抜粋）

- 食料品を購入する際は「てまえどり」を意識し、余計な買い物は控え、必要な量だけ購入しようと思う。
- これからもできる範囲でごみの分別の徹底やフードロスを出さないような生活を心掛けたいと思った。
- フードドライブによって、食料品を子ども食堂に配布して再利用している点など、自社事業に関わる施策もあると知ることができた。
- ごみの減量、フードドライブ、リサイクルは何のためにしているのか、分かりやすく解説してほしい。
- 各家庭や個人でも取組み強化が必要であり、まずは、食品ロス対策の取組みが重要。

市の考え方

今後ごみの減量及びリサイクルの推進に向け、手つかずのまま廃棄される食品の有効活用や、食品提供者や消費者に「食べ切る」・「使い切る」という意識を醸成するため、「てまえどりキャンペーン」や「3010運動」等によって、食品ロスを効果的に削減するための普及啓発活動を継続していきます。

食品ロス対策については、ごみの減量はもとより、食べ物を無駄にしないことを大前提とし、自発的な食品ロス削減行動へとつなぐ普及啓発の実施、また、生産から消費までを全体の流れとして捉え、市民、事業者、関係団体等の多様な主体と連携した取組みについて継続して実施します。

また、市内の事業者と協力したフードドライブをはじめ、食品ロス削減に向けたハンドブックや年長児を対象とした絵本等の配布によって、世代を問わず環境問題について考えてもらえるような取組みを今後も実施していきます。

第4章 モニター指標

(1) 市民・事業者・行政の協働による循環型社会の構築

1) 環境学習・教育の充実

※計画改定後の追加項目については番号に下線あり

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和4年度実績)	令和5年度実績
1	全公立の小学校・義務教育学校、認定こども園への環境学習実施件数（件）	幼少期からの環境学習によるごみの減量を図る	公立小学校・義務教育学校全校 39件	公立小学校・義務教育学校 実施件数 38件
			公立小学校 実施件数 40件	
			公立認定こども園全園 24件	公立認定こども園 実施件数 14件
			公立認定こども園 実施件数 15件	
2	ごみ処理施設との協働による環境学習・見学会実施件数（件）	幼少期からの環境学習によるごみの減量を図る	環境学習・見学会実施件数 7件	6件
			環境学習・見学会実施件数 7件	
3	廃棄物減量等推進員の環境学習への参加人数（人）	地域における環境学習へ参加	参加者数 前年度比増	23人
			参加者数 35人	
4	とよなか環境TVの年間動画配信数（本）	多様な環境問題について、分かりやすく伝えることで興味を引き出す	動画配信数 10本	15本
			動画配信数 10本	
5	認定こども園等年長児と保護者への食品ロスに係る絵本等の配布人数（人）	幼少期からの環境学習によるごみの減量を図る	認定こども園等年長児 全児童	3,529人
			配布人数 3,355人	

2) プラスチックごみの削減に向けた取組み

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和4年度実績)	令和5年度実績
6	豊中エコショップ認定店舗へのプラスチックごみ削減ステッカーの配布店舗（件）	事業者のプラスチック削減の取組みを進める	ステッカー配布店舗数 10件	8件
			ステッカー配布店舗数 17件	
7	市有施設の給水機の給水量に基づく500mlペットボトル換算数（推計）	ペットボトルの削減に努める	500mlペットボトル換算数(推計) 前年度比増	123,210本
			500mlペットボトル換算数(推計) 82,214本	

3) 周辺自治体や事業者との連携

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和4年度実績)	令和5年度実績
8	豊中エコショップ認定店舗の新規認定件数（件）	エコな取組みを実施する事業者の増加とその店舗を利用する市民への周知	新規認定件数 20件 ----- 新規認定件数 20件	21件
9	周辺自治体との連携を図る会議への参加回数（回）及び連携事業数（事業）	周辺自治体と連携した広域的な施策実施を図る	会議等参加数 5回 事業数 1事業 ----- 会議等参加数 4回 事業数 2事業	会議等参加数 6回 事業数 2事業

4) 3Rに取り組む市民団体やグループ活動等との連携

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和4年度実績)	令和5年度実績
10	廃棄物減量等推進員活動参加人数（人）	廃棄物減量等推進員の活動への参加	活動参加人数 前年度比増 ----- 活動参加人数 138人	158人

(2) 家庭系ごみ減量等に関する取組み

1) 地域での3R活動の活性化

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和4年度実績)	令和5年度実績
10 (再掲)	廃棄物減量等推進員活動参加人数（人）	廃棄物減量等推進員の活動への参加	活動参加人数 前年度比増 ----- 活動参加人数 138人	158人
11	出前講座等開催回数（回）	排出者のごみと再生資源の分け方、出し方の知識を高める	出前講座、地域説明会の開催数 5回 ----- 出前講座、地域説明会の開催数 4回	18回

2) 2R（発生抑制・再使用）の促進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和4年度実績)	令和5年度実績
7 (再掲)	市有施設の給水機の給水量に基づく500mlペットボトル換算数（推計）	ペットボトルの削減に努める	500mlペットボトル換算数(推計) 前年度比増 ----- 500mlペットボトル換算数(推計) 82,214本	123,210本
12	リユースイベント開催数（回）	ごみとなるものを再使用することによりごみの減量を図る	リユースイベント開催数 2回 ----- リユースイベント開催数 6回	5回
13	市との協定に基づいた事業者のリユース促進事業利用件数（件）	リユース活動の促進	事業者サービス利用件数 前年度比増 ----- 事業者サービス利用件数 10,241件	29,876件

3) 再生資源集団回収の推進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和4年度実績)	令和5年度実績
14	新規登録団体数（団体）	地域での 3R 活動の活性化を図る	新規登録団体数 10 団体 ----- 新規登録団体数 10 団体	7 団体

4) 多様な再生資源回収方法の構築

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和4年度実績)	令和5年度実績
15	市との協定に基づいた事業者のリサイクル促進事業利用者数（人）	リサイクル事業の促進	リサイクル事業利用者数 2,000 人 ----- リサイクル事業利用者数 2,233 人	2,036 人
16	堆肥化に係わる講座の受講者数（人）	生ごみの堆肥化を促進することによる可燃ごみの減量	講座の受講者数 160 人 ----- 講座の受講者数 119 人	133 人

5) 適切な分別排出の浸透

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和4年度実績)	令和5年度実績
11 (再掲)	出前講座等開催回数（回）	排出者のごみと再生資源の分け方、出し方の知識を高める	出前講座、地域説明会の開催数 5 回 ----- 出前講座、地域説明会の開催数 4 回	18 回
17	市公式 LINE のチャットボット利用回数（回）	適切な分別排出方法の調べ方の市民への周知	利用回数 50,000 回 ----- 利用回数 56,935 回	74,489 回

6) 家庭系ごみの有料化の検討及びごみ処理手数料の適正化（指標なし）

(3) 事業系ごみ減量等に関する取組み

1) ごみ減量に向けた支援

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和4年度実績)	令和5年度実績
18	事業者研修会開催数（回）	事業者への研修を行い、ごみの減量を促す	研修会開催数 1 回 ----- 研修会開催数 1 回	1 回
19	事業者用生ごみ処理機導入補助金事業補助件数（件）	事業系ごみの減量を図る	事業補助件数 5 件 ----- 事業補助件数 (実績なし)	2 件
20	リニュースの発行回数（回）	事業者にごみ減量を促す情報を発信	リニュースの発行回数 2 回 ----- リニュースの発行回数 2 回	2 回

2) 多量排出事業所におけるごみ減量の促進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和4年度実績）	令和5年度実績
21	立ち入り調査件数（件）	対象事業所の適切な分別と再生資源の増加を図る	立ち入り調査件数 60件 立ち入り調査件数 82件	60件

3) 搬入物調査の活用

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和4年度実績）	令和5年度実績
22	搬入物展開調査回数（回）	焼却施設等に搬入されるごみを適正に搬入するよう促す	搬入物展開調査回数 16回 搬入物展開調査回数 18回	13回
23	搬入物目視確認回数（回）	焼却施設等に搬入されるごみを適正に搬入するよう促す	搬入物目視確認回数 90回 搬入物目視確認回数 97回	91回

4) 中小規模事業者における分別排出の促進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和4年度実績）	令和5年度実績
20 (再掲)	リニュースの発行回数（回）	事業者にごみ減量を促す情報を発信	リニュースの発行回数 2回 リニュースの発行回数 2回	2回
24	再生資源共同回収事業及び機密文書溶解参加事業所数（件）	事業者の紙ごみの減量を促す	再生資源共同回収事業及び機密文書溶解参加事業所数 前年度比増 参加事業所数 106件	109件

5) 食品廃棄物リサイクル等の推進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和4年度実績）	令和5年度実績
19 (再掲)	事業者用生ごみ処理機導入補助金事業補助件数（件）	事業系ごみの減量を図る	事業補助件数 5件 事業補助件数 (実績なし)	2件

6) イベントにおける3Rの促進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和4年度実績）	令和5年度実績
25	分別促進用具貸出利用回数（回）	イベント等におけるごみの減量を促す	貸出利用回数 8回 貸出利用回数 5回	30回

(4) 廃棄物の適正処理の推進

1) 時代の要請に応じた分別収集体制の推進

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和4年度実績)	令和5年度実績
26	リサイクル率 (%)	回収拠点を増やすことなどにより、リサイクルを促進する	当該年度の目標値 リサイクル率 16.0%	15.7%
27	委託業者調整会議開催数 (回)	委託業者と連携し、ごみの減量を図る	委託業者調整会議開催数 12回 委託業者調整会議開催数 12回	12回
28	新規介護事業者への周知件数 (件)	高齢者等のごみ出し困難者への支援として、特別収集事業を周知し、ごみの分別排出を図る	新規介護全事業者 新規介護全事業者 (実績なし)	(実績なし)

2) モバイルバッテリーなどの危険物に関する市民啓発の強化

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和4年度実績)	令和5年度実績
29	危険物に関する情報発信回数 (回)	危険物に関する情報の市民への周知	とよなか環境 TV での発信回数 1回 とよなか環境 TV での発信回数 1回	1回

3) 安定した中間処理施設等の運用

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和4年度実績)	令和5年度実績
2 (再掲)	ごみ処理施設との協働による環境学習・見学会実施件数 (件)	幼少期からの環境学習によるごみの減量を図る	環境学習・見学会実施件数 7件 環境学習・見学会実施件数 7件	6件
30	焼却処理量 (t)	ごみ処理施設における可燃ごみの削減	当該年度の目標値 焼却処理量 98,338t	95,569t
31	最終処分量 (t)	ごみの減量による最終処分場の延命化を図る	最終処分量 前年度比減 最終処分量 13,032t	12,067t

(5) 食品ロス削減に向けた普及啓発 【食品ロス削減推進計画】

1) 環境学習・教育の充実

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和4年度実績)	令和5年度実績
5 (再掲)	認定こども園等年長児と保護者への食品ロスに係る絵本等の配布人数 (人)	幼少期からの環境学習によるごみの減量を図る	認定こども園等年長児 全児童 配布人数 3,355人	3,529人

2) 食品ロス削減方法の発信

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和4年度実績）	令和5年度実績
32	食品ロス削減方法等の発信回数（回）	食材の長持ちする保存方法やエコレシジなど、食品ロス削減方法の市民への周知	とよなか環境 TV での発信回数 1回 とよなか環境 TV での発信回数 1回	1回

(6) 市民・事業者等と連携した取組みの推進 【食品ロス削減推進計画】

1) 食品関連事業者における食品ロス削減の取組みの推進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和4年度実績）	令和5年度実績
33	豊中エコショップ認定店舗への食品ロス削減ステッカーの配布店舗（件）	事業者の食品ロス削減に関する取組みの推進	ステッカー配布店舗数 10件 ステッカー配布店舗数 12件	8件
34	市民・事業者・豊中市が連携したキャンペーンの実施（回）	食品ロスが発生しない売り方・買い方の実践と市民への周知	キャンペーンの実施 1回 キャンペーンの実施 1回	1回

2) フードドライブ活動の促進

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和4年度実績）	令和5年度実績
35	各主体の自主的なフードドライブ開催件数（件）	市内でのフードドライブの浸透	豊中市が把握する自主的なフードドライブ開催件数 7件 豊中市が把握する自主的なフードドライブ開催件数 7件	8件

3) 各主体との連携強化

番号	指標（単位）	指標の示すもの	上段：目標数値等 （下段：令和4年度実績）	令和5年度実績
9 (再掲)	周辺自治体との連携を図る会議への参加回数（回）及び連携事業数（事業）	周辺自治体と連携した広域的な施策実施を図る	会議等参加数 5回 事業数 1事業 会議等参加数 4回 事業数 2事業	会議等参加数 6回 事業数 2事業

(7) 循環利用の推進 【食品ロス削減推進計画関連】

1) 食品廃棄物の堆肥化

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和4年度実績)	令和5年度実績
16 (再掲)	堆肥化に係わる講座の受講者数 (人)	生ごみの堆肥化を促進することによる可燃ごみの減量	講座の受講者数 160人	133人
			講座の受講者数 119人	
36	生ごみ・剪定枝の堆肥化及び堆肥の活用 (t)	市から発生する食品廃棄物の資源化を図る	とよびーの配布・頒布量 120t	119t
			とよびーの配布・頒布量 85t	

2) 食品リサイクルの促進

番号	指標 (単位)	指標の示すもの	上段：目標数値等 (下段：令和4年度実績)	令和5年度実績
19 (再掲)	事業者用生ごみ処理機導入補助金事業補助件数 (件)	事業系ごみの減量を図る	事業補助件数 5件	2件
			事業補助件数 (実績なし)	

(参考)

令和元年度（2019年度）家庭系ごみ排出実態調査結果より (重量比)

食品ロス割合（家庭系ごみ）	17.74%
内) 一般厨芥類（食べ残し、流出水分量等）	9.19%
手つかずの食料品（半分以上原形あり）	8.38%
過剰除去	0.17%

令和2年度（2020年度）事業系ごみ排出実態調査結果より (重量比)

食品ロス割合（事業系ごみ）	16.68%
内) 一般厨芥類（食べ残し、流出水分量等）	8.98%
手つかずの食料品（半分以上原形あり）	6.01%
手つかずの食料品（原形のまま）	1.69%

【食品ロス1人1日当たり量】

ごみ搬入量に食品ロス割合を乗じ、365日（閏年の年度は366日）及び毎年度の推計人口で除した値

- ・ R5 家庭系可燃ごみ搬入量 53,426.96 t × 食品ロス割合 17.74% = 9,477.94 t
 - ・ R5 事業系可燃ごみ搬入量 36,967.59 t × 食品ロス割合 16.68% = 6,166.19 t
- 15,644.13 t

→ 15,644.13(t) ÷ 366(日) ÷ 399,179(人) = 0.00010707...(t) ≙ **107.1(g)**

令和5年度（2023年度）

ハッピー（8%）ごみ減量^{げんりやう}プラン～第4次豊中市ごみ減量計画～
事業等報告書 確定版

発行日：令和6年（2024年）12月

編集・発行：豊中市環境部減量計画課

〒561-0891 豊中市走井2丁目5番5号

電話：06-6858-2279

ファクス：06-6843-3501